

【技術ノウハウの見える化】属人的な「職人の感覚」を言語化し、次世代への技術伝承の土台を構築

対象

- ・熟練技術者の高齢化・引退が近づいている製造業・加工業
- ・修理・メンテナンス・保守サービスの現場を持つ企業
- ・経験と「感覚」に頼る作業が多く、マニュアルが未整備の現場全般

よくある課題

熟練技術者の引退に伴うノウハウ喪失の危機

スタッフが「感覚」で作業しており、新人へ論理的な説明・指導ができない

マニュアルが存在せず、OJTの負担が大きい

紹介可能な人材プロフィール

- ・神奈川県在住（60代）
- ・大手素材メーカーに30年以上勤務。液晶用ガラスの梱包容器・材料の設計開発や知財に従事
- ・泥臭い現場支援が得意

ID:226351

支援メニューとアプローチ

感覚の数値化ヒアリング

徹底した現場ヒアリング

部品が「きっちり合った感覚」を実際の寸法（ミリ単位）で計測し直すなど、感覚を数値に置き換える

初心者向け専門用語翻訳

座学資料の作成

「スター結線」「デルタ結線」などの専門用語を、素人にも分かる言葉で解説する資料を整備

実例：水中ポンプ修理工場での成果物 5つの実務資料が運用定着し、自走化

- ・組立・分解の「手順書」
- ・品質と安全を守る「標準書」
- ・部品交換基準書
- ・初心者向け用語集
- ・コイル巻き替え要領（動画活用）

一度のOJTのあとは、マニュアルを見ながら作業できる状態に